

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年 2月 8日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	株式会社 坂出郵船組
所 在 地	香川県坂出市入船町1丁目6番14号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 綾 政彦
担 当 者 連 絡 先	電 話：0877-46-5581 (担当：渡田)
	メー ル：m-toda@s-yusen.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://s-yusen.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は、明治22年「食塩」を主とする一般港湾運送事業者として坂出港運組を設立。 大正10年日本郵船㈱の特約代理店となり、大正13年㈱坂出郵船組に改称。 坂出港を中心に専用施設を保有し、石炭、食塩、飼料、鋼材、巻取紙などの貨物の船舶への積み降ろし、保管及び配送を行っている。
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 ✓経済	フォークリフトなどを電動化し港湾荷役作業において排出される温室効果ガス排出量を削減する。	港湾荷役作業において排出される温室効果ガス量 現状 27台 目標 1/3台を電動化
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 現状 25時間 目標 18時間
□環境 □社会 □経済		

(次項へ続く)

(様式第2号)

企業・団体名(株式会社坂出郵船組)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨職員行動規範に明記している。 ・管理部内に相談窓口を設けている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法等の改正内容を経営陣を含め共有している。 ・長時間労働是正のための労働生産性の改善、時間管理、勤務体制の整備、対応を行っている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・社員向けの労働安全衛生会議の実施を通じて周知徹底を図っている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や役職に応じた外部研修の受講や通信教育受講の際は会社が負担 ・資格、免許取得費用の一部補助を支給している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康診断を毎年実施し健康所見の早期改善を推進している。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・荷役機器の電動化を推進している。							7.2 7.3					12.4	13.3				

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している						6.6										15		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7						12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・積極的に自社倉庫への太陽光発電パネルの設置に努めている。						7.2							13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・作業手順書の作成、定期的な安全衛生会議を実施し、社員の安全意識向上を図っている。			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6							12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・定期的に坂出港並びに周辺の清掃に取り組んでいる。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

令和 6 年 3 月 7 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	香川県坂出市入船町 1 丁目 6 番 1 4 号
名称：	株式会社 坂出郵船組
代表者：	代表取締役 綾 政彦
登録年月日：	令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	フォークリフトなどを電動化し港湾荷役作業において排出される温室効果ガス排出量を削減する。	港湾荷役作業において排出される温室効果ガス量 現状 27 台 目標 1/3 台を電動化	電動フォークリフトを順次導入 (0%)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 現状 25 時間 目標 18 時間	時間外労働時間の短縮 平均 25 時間→23 時間
□環境 □社会 □経済			

令和 7 年 3 月 5 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	香川県坂出市入船町 1 丁目 6 番 1 4 号
名称：	株式会社 坂出郵船組
代表者：	代表取締役 綾 政彦
登録年月日：	令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 ✓経済	フォークリフトなどを電動化し港湾荷役作業において排出される温室効果ガス排出量を削減する。	港湾荷役作業において排出される温室効果ガス量 現状 27 台 目標 1/3 台を電動化	電動フォークリフトを順次導入 (0%)
□環境 ✓社会 ✓経済	合理化、生産性向上による時間外労働時間を短縮する。	月平均時間外労働時間 現状 25 時間 目標 18 時間	時間外労働時間の短縮 平均 25 時間→23 時間
□環境 □社会 □経済			